

第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

(第一日目)

テーマ： 災害・感染症の予防と危機管理

2014年3月8日(土)午前9時～午後5時30分

東京大学医学部2号館本館大講堂
東京都文京区本郷7-9-1

プログラム

(第1日目)

2014年3月8日(土) 第一会会場
東京大学医学部2号館本館3階大講堂
-特別講演、シンポジウム-

午前9時～午前9時10分

開会 酒井 亮二 (第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会会長
日本医療安全学会理事長、国際医療リスクマネジメント学会理事長)

午前9時10分～午前9時40分

特別講演 災害医療コーディネーターの役割
宮野 収 (東京都福祉保健局医療政策部災害医療担当課長)

午前9時40分～午前10時20分

特別講演 医療現場の救急対応、医療従事者向けの災害対応などにおける各種シミュレーション教育について
- 機構の4年間の歩み、現状と問題点
田中 圭 (NPO法人医療危機管理支援機構理事長)

午前10時20分～午前10時50分

特別講演 「こころのリスク外来」の活動概要
小池 進介 (東大病院精神医学教室)

午前11時～午前11時50分

特別講演 リスクガバナンス研究に関する海外の動向
- 新規リスクの早期発見と警告、リスク俯瞰と優先順位付けを中心として
岸本 充生 (産業技術総合研究所安全科学研究部門、東京大学公共政策大学院客員教授)

午前11時50分～午前12時

次期会長講演 中谷 久恵 (広島大学医歯薬保健学研究院地域・在宅看護開発学教授)

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後1時50分

特別講演 災害医療体制のあり方に関する検討会(厚労省)の最新動向

厚労省検討会座長 大友 康裕 (東京医科歯科大学救急災害医学教授)

午後1時50分～午後3時20分

特別講演 大災害の被災者に対する心のケアのあり方

荒木 登茂子 (九州大学医学部医療コミュニケーション学前教授)

午後3時20分～午後5時30分

シンポジウム「健康リスクに関するリスク教育の現状と課題」

(概要) 地域と職場では様々な健康リスクが存在する。しかし、日本でのそれらの健康リスクの認知は極めて不十分かつ不正確な現状にある。健康リスクを社会に向けてリスク教育する際の課題について討議します。

座長 大久保 靖司 (東京大学環境安全本部教授)

一講演 30分

化学物質の健康リスク教育

大久保 靖司 (東京大学環境安全本部教授)

事故リスクのリスク教育 - 法医学の立場から

藤田 眞幸 (慶應義塾大学医学部法医学教授)

放射線の健康リスク教育

樺田 尚樹 (国立保健医療科学院生活環境研究部部長)

健康リスクの教育のあり方

松井 史郎 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター広報コミュニケーション部門部門長特命教授)

総合討論 20分

懇親会 午後6時30分～8時30分、東大構内